

## 第4回 枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会 次第

日時：令和6年1月27日（土）午前10時00分～

（報告案件）

1. 禁野小学校整備事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査について
2. 禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備整備事業について
3. 禁野小学校の新校舎整備について
4. その他

## 禁野本町遺跡第236次調査の成果

調査地 御殿山南町1510-3(元高陵小学校)  
調査原因 禁野小学校改築事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査  
調査期間 令和5年11月13日～令和6年1月16日(現地)  
調査面積 450㎡  
調査主体 枚方市観光にぎわい部文化財課(担当 井戸竜太・須崎雄一朗)

### 1. 経過

令和5年11月13日から令和6年1月16日にかけて新校舎建設工事に先立ち禁野本町遺跡の発掘調査を行いました。禁野本町遺跡は、その南側にある奈良時代後半頃に百済王氏が創建したとされる百済寺跡の北側に広がる古代都市遺跡です。百済王氏は、平安京へ遷都した桓武天皇を支えた渡来系の有力氏族で、禁野本町遺跡を中心に当時としては国の施設にしかない碁盤目状の地割(方形街区)の都市を築いたとされています(図1)。今回の調査地は、想定の方形街区外の北西側に位置していますが、令和4年に実施した試掘調査で奈良時代の土器等が出土したことを踏まえて、工事で影響がある範囲に限定して本格的な発掘調査を実施しました。

### 2. 調査の成果

今回の調査では、奈良時代(8世紀)頃の谷状の落ち込みや柱穴が発見されました。谷状の落ち込み(下写真1の左側)は、浅く窪んでおり、北で少し東に振る南北方向に延びて、調査区外の北側へと続いています。この落ち込みの中層からは、奈良時代頃の土師器や須恵器が出土しました(写真2)。土師器の煮炊き具である甕の表面に煤が付くものが多いことや、谷状落ち込みの東肩付近で柱穴が出土(写真3)することから、この周辺には奈良時代の宅地があったことが明らかとなりました。

今回の発見は、百済王氏の都市整備が従来想定していたものより広く構想されていた可能性を示めす重要な成果と言えます。今後の周辺部での調査によって、その様子が確かめられていくことが期待されます。(井戸)



写真1 奈良時代の谷状の落ち込み(北東から撮影)

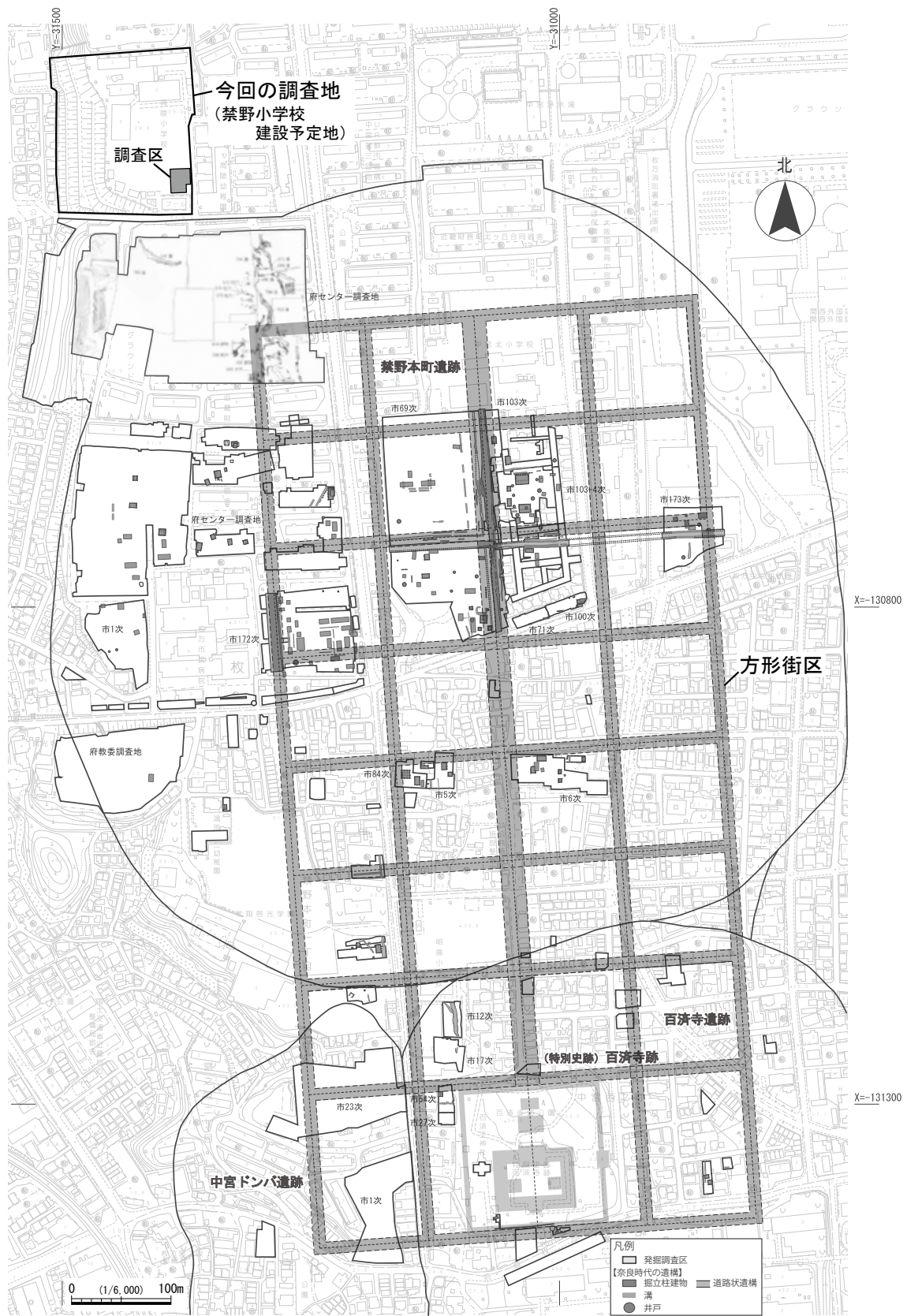


図1 百済寺跡・禁野本町遺跡を中心とする方形街区



写真2 谷状の落ち込みから出土した奈良時代の須恵器



写真3 古代の柱穴 半截状態

## 禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備整備事業について

## 1. 目的

現在、本市では市立小中学校の体育館に空調設備を設置する「枚方市小中学校体育館空調設備整備DBO事業」を進めています。

市立禁野小学校につきましては、新校舎において体育館空調を設置することや、体育館を含め現校舎（旧中宮北小学校敷地内）が暫定運用であることから、当該DBO事業には含まれていませんでした。

今回、児童の学習環境の整備について再検討したなかで、他の市立小中学校と同様に体育館空調設備を同校の体育館にも設置することとして、禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備整備事業を実施します。

## 2. スケジュール（予定）

令和6年度：禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備設置工事

令和7年度夏季：禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備稼働